



SSIV 環境科学科卒業生による講演Ⅳ

6月14日（金）、環境科学科1年生を対象に、環境科学科卒業生の溝上幸太さん（和歌山大・1回生）に講演していただきました。溝上さんには5月にも環境科学科2年生を対象に講演していただきました。以下、生徒の感想です。

『高校生活は勉強一色ではなく、さまざまなことに挑戦するためのチャンスであることに気付かされました。特に、高校生でも国家試験などの資格を取得できるということは初耳で、私も大学受験のためだけでなく、自分の将来に活かせるよう機会があれば受けてみたいと感じています。』

『たくさんの体験を通して視野や視点、興味・関心を広げることで見えてくる世界はやっぱり違いそうだと感じました。発表の仕方もスライドを道具として使い、情報量を減らしたり、スライドを消したりして話に集中できるような工夫をしていると感じました。』『今はスマホ1台でなんでもできると思っていたけれど、現地に行かないとわからないこともあって、そこで出会える人や発見があるのは、とてもワクワクするものだなと思いました。』『今日の講演は、これまでで一番多くのことが知れたと思う。自ら体験することによってもっと世界を広げることができると思った。』



KOYOサイエンス教室「ロボット教室」



6月15日（土）、和歌山県内中学3年生の希望者を対象に、KOYOサイエンス教室「ロボット教室」を実施しました。教室ではプログラミングを行い、ロボットが黒いラインを進んでいくライントレースを体験します。本校物理部の生徒が講師を務めました。参加してくれた中学生は、『プログラミングでのライントレースは少し難しかったけど、とても楽しかった。学校の雰囲気もすごくよかった。』と感想を述べてくれました。2学期にも開催する予定です。



SSIV 環境科学科卒業生による講演Ⅴ

6月21日（金）、環境科学科1年生を対象に、環境科学科卒業生の中谷剛人さん（京都大学大学院・修士課程2年）、青貝悠汰さん（広島大学・4回生）に講演していただきました。自分が通っている大学についての紹介や向陽高校時代の研究内容、現在大学で行っている研究内容等についてお話しいただき、1年生は先輩から良い刺激を受けていました。以下、生徒の感想です。

『自分が気になったことを研究して明らかにしようという姿勢を見習おうと思いました。まず課題研究を頑張りたいです。』『大学で研究している具体的な内容を聞くことができて面白かったです。プログラムをつくる上での考え方、相図についての説明はとても興味深かったです。』『実験の内容は難しくて分らなかったが、どのように進めていくのがいいのか分かったのが有益だった。1つの分野を極めて人前に発表できるスキルに憧れた。』

